

新年



誰もが

暮らしやすいまち

西条へ



西条市長

青野 勝

新年明けましておめでとうございます。謹んで初春のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご健勝と限りないご清福を心からお祈り申し上げます。

市民の皆様からの熱いご期待とご信任をいただき、西条市の舵取りという大役を仰せ付かり、一年余が過ぎました。この間、市政の主役である市民の皆様との対話「キャッチボール」を常に心がけ、広報・広聴事業の充実を旨として、積極的に情報を発信し、いただいた市民の声を市政に反映させるべく庁内体制の整備に努めてまいりました。その結果、私の目標とする「市民総参加のまちづくり」「明るく開かれた元気な西条」に向けて一歩前進し得たのではないかと思うところです。

さて、年頭にあたり昨年を顧みますと、東京オリンピックの開催決定やアベノミクスと言われる経済政策による景気刺激効果により、明るい兆しは見えてきたものの、この地域においては、大手企業の撤退表明などもあり、本年4月からの消費税増税による市民生活への影響等を含め、依然として厳しい状況下にあるものと認識しております。しかしながら、「人を育みくらしを守る」ため、防災体制の強化、医療福祉の充実、産業振興など、当市が直面する諸課題に真正面から取り組み、勇

気ある決断と実行により、立ち止まることなく、将来への歩を進めていかなければなりません。

また、本年は、新しい西条市が誕生して10周年を迎えます。そこで、新市の開業や記念事業を計画してまいりますが、ここに市民の皆様のご参画をいただくことで、地域の融和一体感がさらに醸成されることを念願するものです。そして、これが、新たなまちづくりの取り組みとして継続され将来につながることを望みます。

さらに、これまでの歩みを総括するとともに、新たなビジョンを明確に示すため、現在、総合計画の見直しを行っております。

次の10年は、私の掲げる「和・輪・話・笑（わ・わ・わ・わ）」の精神のもと、市民と行政が喜びも苦しみも共有し、市民総参加の協働によるまちづくりを進めたいと存じますので、皆様がこの上なからのお力添えをお願い申し上げます。

結びになりましたが、市民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成二十六年元旦

※写真：冬の石鎚に向かって一歩、また一歩と進む様子。